



三条北ロータリークラブ週報



2012-2013年度

国際ロータリー会長：田中作次（八潮RC）「奉仕を通じて平和を」

第2560地区ガバナー：鈴木重尨（長岡RC）「恕の心を以て・奉仕を通じて平和を」

三条北ロータリークラブテーマ「意義或るロータリーライフをたのしもう」

会長：早川 瀧雄

幹事：坂内 康男

SAA：高橋 研一

例会日：火曜日12:30～13:30

例会場：三条ロイヤルホテル Tel.34-8111

事務局：三条市本町3-5-25三条ロイヤルホテル内

TEL:0256-35-7160 FAX:0256-35-7488

HP：<http://www.sanjo-nrc.org>

AD：north@sanjo-nrc.org

本日の行事：「IM報告会」

◆本日の出席：69名中45名

◆先々週の出席率：69名中57名 82.61%
前年同期 76.12%

◆本日のオブザーバー：1年交換学生
スサンナ ジョー シモンさん

◆先週のメイクアップ（敬称略）

9月27日燕RCへ 加藤 實

29日第四分区IM（巻）

石川一昭、石川勝行、石黒隆夫
岡田 健、金子太一郎、小林繁男
駒形 実、斎藤 正、佐藤秀一
中條耕二、西村 護、早川瀧雄
坂内康男、馬場直次郎、瀧岡 茂
星野義男、丸山達夫、丸山 勝

雑誌員会よりお知らせ

ロータリーの友10月号⑩頁

「わかち合いたいうれしいこと」

山本会員（6月投稿）の記事が掲載されて
います。



会長挨拶：早川瀧雄会長



本日も多くの会員のご出席あり
がありがとうございます。

加藤会員も久しぶりに出席して
いただきましたありがとうございます。
スーシーさんもゆっくり
例会を楽しんで下さい。心配
された台風17号もたいした被
害も無く良かったです。きょう
は台風一過で爽やかな秋晴れに
なりました。

29日巻クラブ主催で第四分区11クラブ142
名の参加でIMが開催されました。巻クラブの会
員12名全員参加で接待してくれました。杉山ガ
バナー補佐による開会点鐘の後、基調講演「東日
本大震災における自衛隊の実態は」防衛省自衛隊
新潟協力本部長1等陸佐吉田賢一郎様の講演でし
た。内容は被災地の行方不明者の救出等々の話が
ありました。その後、五ヶ浜海岸清掃で汗を流し
た後、じよんのび館で入浴。その後懇親会で親睦
を深めました。

今日の例会行事はIM報告会です。4名の方々、
宜しくお願いします。

幹事報告：坂内康男幹事

- ・村松RCより 50周年記念報告書送付の件
- ・ロータリー日本財団より
PHFピン送付について
坂本勝司会員4回達成
中條耕二会員7回達成
斎藤 正会員8回達成



理事会報告： 第4回 平成24年10月2日11：30～12：30

開催場所：三条ロイヤルホテル 出席数：14／15

出席者名：早川瀧雄、丸山 勝、落合益夫、坂内康男、佐藤義英、高橋研一、星野義男
石川勝行、石黒隆夫、高森武志、佐藤秀一、渋谷義徳、岡田 健、斎藤 正

- 協議事項
1. 「バーベキュー大会」決算報告 承認
 2. 被災地視察ツアー最終報告 承認
4RC合計60名参加 参加者負担@25,000円
 3. 新会員候補の件 承認
 4. 私のメッセージ小学生大会後援依頼の件 承認
後援団体として承諾
 5. ライラ研修参加者の件 承認
5名参加：丸山自動車 2名・スーパーカット他2名 岡田委員長

委員会報告：職業奉仕：「耳寄り情報」ご協力をお願い

職業を通して助け合いの職業奉仕を会員間で行ってみませんか。企業でのイベント、セール、販売製品の紹介等、情報をお寄せ下さい。週報に掲載し、職業を通して会員の輪ができればと思います。

◆ロータリー財団BOX：2日現在累計69,000円

澁岡 茂君 会費と共に、財団に協力して頂いていますことに感謝します。
今日はスーシーが月一回の例会出席で来ております。先ほど今月のお小遣いを頂きました。今後とも宜しくお願いいたします。

◆米山奨学BOX：2日現在累計236,000円

佐藤 秀一君 今日はトーフの日です。
石川 一昭君 石川委員長に協力です。
平出富士夫君 〃
本田 芳久君 BOXに協力！
今井 克義君 〃
石川 友意君 先週は会員の皆様に米山月間ということでBOXを廻らせて頂き、ご協力頂きましたことに心から感謝申し上げます。

◆ニコニコBOX：2日現在累計279,000円

早川 瀧雄君 加藤さん久々の出席ありがとうございます。
石川 一昭君 柄沢さんホールインワンコンペに参加して頂きました会員の皆様大変ありがとうございます。お礼申し上げます。
渋谷 義徳君 月づきに月見る月はこの月の月。仲秋の名月を見ることができました。とってもきれいでした。
星野 義男君 IM報告者に感謝して!!
落合 益夫君 BOXに協力
丸山 勝君 〃
金子太一郎君 〃
佐藤 義英君 〃
大橋 政雄君 〃
岡田 健君 〃
馬場直次郎君 台風が来ないで本当に良かったなァー。雨も恐れていたんだが・・・。



佐藤 秀一会員

先週の土曜日、巻ロータリークラブがホストのIM（インターシティミーティング）に行っていました。

巻のほたるの館で130名ほどの参加で13時より開会してガバナー補佐パスト

ガバナーの挨拶がありその後の進行内容は基調講演、五ヶ浜海岸の清掃、じょんのび館入浴、そして懇親会がありました。

基調講演ですが陸上自衛隊、一等陸佐、吉田賢一郎さんの「東日本大震災に於ける自衛隊の実態は」としてお話をお聞きしました。誰もがご存じのように自衛隊員が来る日も来る日も行方不明者の捜索や遺体の収容をしたわけですが、さすがの屈強な隊員達も食事ができないとか眠れないとかあったそうです。胸におさえておくのではなく、そんな時に言葉に出して自分だけじゃないんだと思うことにより、また明日も捜索活動ができたそうです。

また長い間、モチベーションを保てたのは全国からの応援メッセージがあったからこそだったそうです。まだまだ感動的なお話はありましたが、もう一つ気になったのは、震災の時に中国やロシアの救援隊もやってきましたが、そのときは救援というより日本の自衛隊の実力を見に、スパイとしてきているのだ、それが世界の常識だと言い切っておりました。

その後、バスで移動して五ヶ浜海岸の清掃、多少の雨や嵐でも中止はなくレインコートも用意されていました。作業にはちょうどよい天候で佐渡島もよく見えていました。

発砲スチロールやプラスチックの破片など大量のゴミが回収されました。来年もきれいな砂浜で海水浴ができると思います。

全員での記念撮影後バスに乗りじょんのび館へ。ボランティアで流した汗もサッパリとした後は冷えたビールととても美味しいキュウリとナスの漬け物、豪華な松花堂弁当がすでに並んでいました。

きれいな着物姿の女性達も登場し、会員相互の友好に華を添え、有意義な懇親会でした。

巻ロータリークラブのもてなしの心を感じて参りました。ありがとうございました。



丸山 勝会員

IMとは近隣都市クラブが集まって開く会合で4大奉仕をカバーしつつクラブ全員参加で会合する。会員相互の親睦と知識を広める事です。

来賓挨拶で中條パストガバナーよりロータリー会員の減少で1年で1クラブ（40名）ぐらい減少している。会員増強が急務であると取言うことでした。

又、基調講演では自衛隊新潟協力本部長、一等陸佐吉田賢一郎様より「東日本大震災における自衛隊の実態は」との話をお聞きしました。

部下に対する「思いやりとか」「明日を担う仕事をしよう」の話をされ最後に「絆・・・思いは一つ LOVE JAPAN」で締めた。

五ヶ浜海岸での清掃、入浴、懇親会と続けました。懇親会は岩室芸者（きれいどころ）のお酌で酒が進みました。その後の北クラブの二次会でも美味しく飲みました。

最後に、北RCは31名の登録で出席は18名でした。13名分の登録料がもったいない・・・次回は全員参加でお願いしたいと思いました。



金子太一郎会員

4名の報告がありますので重複しないように私の感じた事を話させていただきます。

当日は、燕三条カレー博があり私はその広告の責任者でした。

黄色いポロシャツを着て午前中は参加して、午後からは、ロータリーとゴミ拾いへの愛着がありましたのでIMに参加させて貰いました。基調講演は感動しました。涙の出るお話の反面、きみまるさんのように会場を笑いに誘う、いいお話でした。新潟県内でも100ヶ所くらい講演しているそうです。

その後、海岸線でのゴミ拾いでしたが、初めての経験なのでどんなものかなと思っていましたが、海岸線はすでに清掃されていて、道路際に押し寄せられたゴミを拾う様な感じでした。東RCから米山奨学生が参加されていました。スレンダーな中国の女性でしたがゴミ拾いもや

って感心しました。今、日中のいざこざがあり、皆さん気を遣いながら話しをされていましたが、いい機会なので私も聞いてみました。「あれは一部の人の話で、普通の人はそんなことは無いんです」と言っていて、この話を聞いたことが参加したなかで一番、為になったような気がします。



石川 勝行会員

12:30 市役所前に集合し東 RC と同じバスで出発。
13:00 巻農村環境改善センターにて開会、基調講演。
15:00 五ヶ浜海岸にて砂浜の清掃作業。

17:00 じよんのび館にて入浴。
17:30 巻農村環境改善センターにて 懇親会、手につないでにて終了。
20:00 かきもと(佐藤秀一会員のお店)にて全員二次会。焼き鳥、卵焼き等で盛大に。

○概要

1. 「共学、共働、共汗、奉仕の輪」をテーマに大自然との調和、環境への取組みを身をもって奉仕活動すること。
 - ①共学・・・自衛隊新潟協力本部長 吉田 1 等陸佐の話
 - ②共働、共汗、奉仕の輪・・・五ヶ浜海岸清掃で 11 クラブ会員による奉仕活動。
2. 自衛隊新潟協力本部長 吉田 1 等陸佐の話
 - 1)自衛隊の現況と東日本大震災への対応
 - ①新潟県の自衛官の 70%は新潟県出身者。自分は 1 等陸佐で旧名称的には大佐で東京都出身。本部長とは県内には県警本部長、海上保安本部長の 3 人しかいない職責。自衛隊は定年が 53 歳のため、もうすぐ自分も定年。H23.4.20 新潟赴任前に東日本大震災の仕事を一戸及び釜石でしてきた。自衛官は 24 万人である。今回 10 万人の派遣が行われたため交代要員 10 万人であるので、日本国土を守ったのは 4 万人であった。
 - ②東北には 6 師団 2 万人が配属されていた。3 月 11 日夜には高田、新発田部隊を含め 1 万人が出発した。3 月 17 日には 10 万人になっていた。陸上自衛隊 7 万人海上自衛隊 1400 人その他。又米軍も 1400 人応援してくれた。戦後初めて予備自衛官(定年後自衛

官)2500 人も動員された。

- ③地震後の対策と原子力災害対策の二件であった。人命救助は 19000 人、死者 10000 人で、死者の扱いを生きている人間として扱った。
- 2)防衛について
- ①地震発生後すぐにロシアと中国の偵察機が飛来した。目的は以下と思われる。
 - ①空中で放射能のチリを集めるため。
 - ②軍事情報としての電波情報(自衛隊の無線能力等)を入手するため。
 - ③偵察情報。有事の際のスクランブル到着時間等を測るため。
 - ②救済活動に多数入国してきたが、赤十字の服を着て 1 週間程度で帰国したスパイと思われる人もいた。自衛隊の能力調査等ではなかったのでは。
 - ③自分が八戸に居たときアメリカの航空母艦が来た。福島でなくなぜ八戸かとうとう、ロシアと中国への抑えであった。見に行っていたが非常に大きかった。
- 3)自衛隊及び自衛官の現実的対応認識等
- ①余震等への不安～すべて手探りであった。
 - ・車はすべて山向きに停車。肩には警報器。いつでも消防隊員等の避難補助できるように準備していた。
 - ②心のケア
 - ①次の三つを徹底した。
 - ・一定期間たったら「とにかく休め」(クールダウン)。
 - ・何でもいから「しゃべらせる」。食事ができない隊員も出ていたので。
 - ・応援メッセージを音読させた。元気が出る。
 - ②3 歳の男児の遺体を母親に届けたとき、母親が最後に抱っこしたいと言ったので、抱っこをさせた。「生まれ変わったら、自衛官になってね。」と母親は言った。
 - ③自分の父親が H23.3.17 死亡した。長男であるが、時期が時期なので、葬式等に出ないつもりであった。上司に報告したら「こんなときだからこそ行け。」と。通夜には間に合わなかったが、本葬の際にどっと涙が出た。隣にいた母親が肘でつづいた。自分もクールダウンが必要であったと思った。
 - ④八戸のホームページの災害情報に載っているので見て下さい。



ロイヤルヌーヴォー 2012

H.24.11.15(THU)
Start 19:00
Fee 8,000yen



チケット好評発売中!!

※お電話でもご予約承ります。お早めにご予約下さい。

今年の
おすすめ



メニューなど詳しい情報を掲載しています。
是非、当ホテルホームページもご覧ください。

<http://www.sanjoy.jp>

ご予約・お問い合わせ専用ダイヤル (携帯OK)

0120-34-8144

SUN-JOY 三条ロイヤルホテル

〒955-0071 三条市本町 3-5-25 TEL:34-8111 FAX:34-8114



(職業奉仕委員会・広報委員会)